【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-500389(P2005-500389A)
【公表日】平成17年1月6日(2005.1.6)
【年通号数】公開・登録公報2005-001
【出願番号】特願2003-521776(P2003-521776)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｋ
Ａ６１Ｐ　25/28

【手続補正書】
【提出日】平成17年8月12日(2005.8.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体におけるＡβに関連した病態または疾患の認知症状の治療用医薬組成物であって、可溶性Ａβに10^{-9}Mよりも高い親和性を有する抗Ａβ抗体を有効量で含有する医薬組成物。
【請求項２】
Ａβに関連した病態または疾患を有する被検体の疾患の進行を低下させるための医薬組成物であって、可溶性Ａβに10^{-9}Mよりも高い親和性を有する抗Ａβ抗体を有効量で含有する医薬組成物。
【請求項３】
被検体におけるＡβに関連した病態または疾患の認知症状の治療用医薬組成物であって、可溶性Ａβ1-40またはＡβ1-42に10^{-9}Ｍよりも高い親和性(KD)を有する抗Ａβ抗体を有効量で含有する医薬組成物。
【請求項４】
Ａβに関連した病態または疾患を有する被検体の疾患の進行を低下させるための医薬組成物であって、可溶性Ａβ1-40またはＡβ1-42に10^{-9}Mよりも高い親和性(KD)を有する抗Ａβ抗体を有効量で含有する医薬組成物。
【請求項５】
被検体におけるＡβに関連した病態または疾患の認知症状の治療用医薬組成物であって、可溶性Ａβに対して抗体266が有する親和性よりも高い親和性を有する抗Ａβ抗体を有効量で含有する医薬組成物。
【請求項６】
Ａβに関連した病態または疾患を有する被検体の疾患の進行を低下させるための医薬組成物であって、可溶性Ａβに対して抗体266が有する親和性よりも高い親和性を有する抗Ａβ抗体を有効量で含有する医薬組成物。
【請求項７】
抗Ａβ抗体が可溶性Ａβに対して10^{-10}Mよりも高い親和性を有する、請求項１～６のい

ずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項８】
抗Ａβ抗体が可溶性Ａβに対して10^{-11}Mよりも高い親和性を有する、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項９】
抗Ａβ抗体が可溶性Ａβに対して10^{-12}Mよりも高い親和性を有する、請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
抗Ａβ抗体の親和性が可溶性Ａβ1-40またはＡβ1-42について測定されている、請求項１～９のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
被検体がヒトであり、抗Ａβ抗体がヒトまたはヒト型抗体である、請求項１～１０のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
抗Ａβ抗体が、抗体266が認識するエピトープと同じエピトープを認識するか、または可溶性Ａβへの結合に関して抗体266と競合する、請求項１～１１のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
病態または疾患がアルツハイマー病である、請求項１～１２のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
病態または疾患がダウン症である、請求項１～１２のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
病態または疾患が、大脳アミロイド脈管障害である、請求項１～１２のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
病態または疾患が脈管性痴呆である、請求項１～１２のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
病態または疾患が軽度の認知障害である、請求項１～１２のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１８】
Ａβに関連した病態または疾患の認知症状を治療するための医薬を製造するための、可溶性Ａβ1-40またはＡβ1-42に対して10^{-9}Mよりも高い親和性(KD)を有する抗Ａβ抗体の使用。
【請求項１９】
Ａβに関連した病態または疾患を有する被検体の疾患の進行を低下させるための医薬を製造するための、可溶性Ａβ1-40またはＡβ1-42に対して10^{-9}Mよりも高い親和性(KD)を有する抗Ａβ抗体の使用。
【請求項２０】
Ａβに関連した病態または疾患を有する被検体の認知症状を治療するための医薬を製造するための、可溶性Ａβに対して抗体266が有するよりも高い親和性を有する抗Ａβ抗体の使用。
【請求項２１】
Ａβに関連した病態または疾患を有する被検体の疾患の進行を低下するための医薬を製造するための、可溶性Ａβに対して抗体266が有するよりも高い親和性を有する抗Ａβ抗体の使用。
【請求項２２】
請求項１～１７のいずれか１項に記載の医薬組成物を製造するための、抗Ａβ抗体の使

用。